

令和 3 年度 第 1 回 大和高田市まち・ひと・しごと創生会議（書面開催）会議録

令和 3 年 8 月 25 日（水）に開催を予定していました「大和高田市まち・ひと・しごと創生会議」の開催につきまして、新型コロナウイルス感染拡大状況及び感染拡大防止の観点から、会場開催を中止し、書面会議形式にて開催いたしました。

日 時	令和 3 年 8 月 25 日（水） 書面による開催通知 令和 3 年 9 月 10 日（金） 回答期限
案 件	1 会長及び副会長の選出について 2 大和高田市の人口動態の現状について 3 令和 2 年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 活用事業の実施状況報告について 4 企業版ふるさと納税の状況報告について 5 令和 3 年度 まち・ひと・しごと創生会議の今後の予定について
配布資料	【別紙 1】意見等回答書 【別紙 2】案件概要説明 【資料 1】会長及び副会長の選出について（事務局提案書） 【資料 2】大和高田市の人口動態の現状について データ表（令和 3 年 8 月） 【資料 3】令和 2 年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 活用事業の実施状況報告について 【資料 4】企業版ふるさと納税の状況報告について 【資料 5】令和 3 年度 まち・ひと・しごと創生会議の今後の予定について
開催方法	全委員に資料を送付し、【別紙 2】案件概要説明 をもとに、【資料 1～5】をご参照 いただき、案件に対するご意見等を【別紙 1】意見等回答書 にご記入後、事務局へ 提出
出席者 11 名 （五十音順）	浅野 誠 委員（大和高田商工会議所 専務理事） 石川 俊博 委員（連合奈良中和地域協議会 事務局長） 岩脇 辰行 委員（大和高田公共職業安定所 所長） 鶴谷 将彦 委員（奈良県立大学 地域創造学部 准教授） 早川 英子 委員（公募市民） 前川 隆之 委員（奈良県農業協同組合 新庄営農経済センター 所長） 増田 武雄 委員（大和高田市町総代連合会 会長） 村島 昭代 委員（大和高田市民生児童委員協議会連合会 児童福祉部会 部長） 吉川 哲生 委員（南都銀行高田エリア エリア統括長兼支店長） 谷河 照美 委員（副市長） 梶木 義敏 委員（教育長）

案件 1 会長及び副会長の選出について

大和高田市まち・ひと・しごと創生会議設置要綱第 5 条に基づき、委員の互選による選出となっていますが、【資料 1】会長及び副会長の選出について（事務局提案書）をご提示させていただき、可否をお伺いしました。

承認する	承認しません	合計
11 名	0 名	11 名

以上の結果より、事務局提案のとおり、ご就任いただきました。

会 長	鶴谷 将彦 委員
副会長	増田 武雄 委員

【ご意見】

- 本会議では委員の男女比に明らかな偏りが見られる。市民に直接係わる施策会議においては、特に男女比を考慮した委員構成を目指すべき。

【市の見解】

大和高田市まち・ひと・しごと創生会議設置要綱第 3 条に基づき、各機関・団体のご関係者さまに委嘱させていただいておりますため、本市より性別のご指定させていただくことは難しいと考えていますが、ご指摘のとおり、性別の偏りのないご意見を頂戴できるよう、今後工夫していきます。

案件2 大和高田市の人口動態の現状について

No.	ご意見等
1	人口減少と高齢化は、生産人口および消費人口の減少を誘因し事業承継問題を顕在化させる要因であり、地域経済と産業の持続的発展を阻害する。第2期総合戦略では安定した雇用の創出を目標に、地域産業の発展と地元雇用の創出に係る各種施策に取り組むことで人口減少の抑制と産業振興を図ることになっており、これら施策を着実に遂行していかなければならない。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は、産業、経済、医療、日常生活等人口動態の要因に非常に深刻な影響を及ぼしており、当面の間、収束が見通せない状況であることから、第2期総合戦略もこの影響を見極め、必要に応じて適宜柔軟に修正していく必要があると考える。
2	人口の推移については、恐らく全国的な傾向で大和高田市特有のものではないと思われます。数値や傾向については冷静に受け止めるしかないと思います。ただ、出生数の少なさ、入転出において転出超過が続いていることが気になります。特に入転出については、対象地域の60%が近隣市町とのことです。通勤の都合や親の介護、家屋の老朽化などの転居理由が想像されますが、広域で見れば多くの人がこの地域に住みたいと思っているという事ではないでしょうか？
3	転出が転入を上回っている状態が恒常的に続いているが、転出先の分析、例えば県外、県内他市町村別等の分析、同じく転入元の自治体を分析して、転出を止めるために県内他市町村と比べ、どのような住民サービスが必要か見極め戦略を立てる必要があるのではないか。
4	今後、生産年齢人口の減少率が大きくなっていくが、その年代層が減るということは、その子供世代も減っていくということで、深刻な問題である。
5	人口動態に大きな変化がないことから、元気な高齢者が活躍していけるようにすることも考えていくことが大切である。
6	転入者が減り転出数も一定数続き出生数が減り死亡数が増えている状態では人口は増えにくいと思います。子育て世代(30～40代)の転出が多いとされる事、市内での安定した雇用の問題を解決していくことが重要だと思います。
7	少子高齢化の進行を純化させる為の効果的な手段はどのようなものが考えられるのか？具体的にどのようなものが考えられるか？人口減少の要因は？若年層に対して大和高田市に住みたいと思える様な魅力のある環境が整っているであろうか？転居者が多く転入者が少ない原因は？ 例えば、大和高田市には人が集まれる大きな公園や自然を活かした遊び場が少ない 大中公園…駐車場がない（車で移動が伴う） 築山公園…自然はあるが整備されていない。子供が楽しめる遊具が少ない等
8	子育てしやすい大和高田市のイメージの形成（教育環境の特色・子育てサービス）を早急に立てる必要がある。環境教育の底上げ。子育て世代に住んでもらえるまちになるように何が有効か分析が必要。
9	予想通りの結果に驚きはなく、子育て世代の転出をくい止める積極的な施策を早急に検討・実施が必要であると考える。
10	新型コロナウイルスで不透明な部分が多かったものの、依然として人口減少が続く中、問題点としては資料にも記載の通り、出生数の減少・転出数が転入数を上回っている状況である。 生産年齢人口の減少が人口減少に直結している現状を踏まえ、若い世代の人口減少を緩やかにする方策が必要である。

【市の見解等】

令和2年の国勢調査【速報値】の結果は、第2期総合戦略の戦略人口を上回っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の人口動態とは異なる特徴が現れている可能性が高いことに注視が必要なことと、転出の年齢傾向が子育て世代（30～40代）が多いため、本市の少子高齢化は依然として進行していると推測されます。

第2期大和高田市まち・ひと・しごと総合戦略の人口問題に対する取組の考え方としましては、合計特殊出生率及び純定住率の上昇を図り、子育て世代の転出超過の抑制に取り組むこととしていますので、方向性としては継続し、基本目標達成のための事業に今後も注力していく必要があると考えています。また、令和2年国勢調査の確報値の公表が11月頃予定されていますので、確報値が公表され次第、引続き具体的な傾向についても分析していきます。

案件3 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況報告について

I 本市における安定した雇用を創出する に該当する事業について

〈評価する点〉

No.	ご意見等
1	新型コロナの影響により経済的に困窮した事業者や市民への即効性のある支援事業であると思われる。
2	コロナ禍は事業者、店舗経営者にとっても想定外の事なので、今回の「給付金事業」は事業の継続支援になったものと評価できます。一方で、これが「安定した雇用の創出」に繋がったかどうか、従前の雇用条件が維持されたか否かは疑問が残る。(検証が必要)
3	エコバックやステッカー等は市が行うことにより、新型コロナ感染症対策について十分な意識付けができたと思う。
4	コロナ禍でも経済が動かなくなると全てが止まってしまうため企業への速やかな支援は大きいと思います。地域振興券、食事券は地元商店を利用するきっかけになり良かったと思う。
5	新型コロナに対する支援事業については各事業共に十分な対応がされており、目に見えた成果も得られていると思う。
6	コロナ禍で打ち出した振興券や食事券事業について、家計の負担軽減と事業者への支援とし評価できる。
7	「地域振興券当発行業務」「GOTOEat 大和高田プレミアム付食事業」は市民、飲食店共に経済的支援と旅行や外食などの娯楽もない毎日に少しでも明るく楽しめる事業であると評価する。
8	地域振興券発行事業や GoToEat 大和高田プレミアム事業は地域の消費喚起につながり、結果的に市内業者の売上補填につながった。

〈問題があると考えられる点〉

No.	ご意見等
1	給付金事業や振興券事業の利点は即効性が高いことにあるが、長期に及ぶコロナ禍を乗り切るためには単発ではなく継続性のある事業も必要である。
2	「事業実施による効果」(内部検証)の記述内容を裏付ける数値根拠が示されていない。
3	エコバッグの配布について、CO ₂ 削減に寄与したとの記載については、いささか過大評価ではないでしょうか？エコバッグは重宝するし、複数あっても邪魔にはなりません但未使用のままだとエコバッグ製造～手元に届くまでのCO ₂ 排出がかえって増えたことになります。勿論、普段からエコバッグを利用してCO ₂ 排出削減を意識することは大切なことで、そのツールを配布したこと自体は評価できると思います。
4	各種事業対象者の意見を聞くことも重要である。
5	地域振興券などは地元商店などを知るきっかけにもなったと思うのでさらに利用しやすくなる工夫があると良いかと思います。(デリバリーが出来るとかしやすくなるなど)
6	地域振興券と同封されたエコバックは、すでに自前のエコバックを使用している方がほとんどだと考えられるこのタイミングでは不用で、ゴミを増やすだけになってしまい、エコバックを同封した事で郵送代も余計な支出と思う。
7	GOTOEat 大和高田プレミアム付食事券を購入された年齢別割合はどのようになっているのか？高齢者の方々と利用方法が分からない、利用対象店一覧のチラシも小さく読み辛いから購入を諦めたという声もいくつかあった。
8	新型コロナウイルス感染症予防対策支援ステッカー交付事業については、利用者はステッカーを見て店を決めることは現実的に少なく、対策を取っている店に補助金等を交付する方が現実的である

【市の見解等】

委員のみなさまからのご意見からも、事業については、一定評価をいただけたと考えています。

しかし、同時に長引くコロナ禍で事業の持続性が求められており、コロナの状況が変化していくことで、求められる施策も変わっていくことから、今後の状況を見極めながら、ウィズコロナ・アフターコロナに対応できる事業展開についても、検討していきます。また、効果検証については、事業実績数値では効果は計りにくい性質のものと考えていたため、実績値表記は行いませんでしたが、各種団体と連携し、事業対象者の中から無作為に各種現場のご意見をお伺いする等、創意工夫の余地があるため、次回以降に生かしていきます。

Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる に該当する事業について

〈評価する点〉

No.	ご意見等
1	いずれも対象者が抱える課題に寄り添ったきめ細やかな支援事業であると思われる。
2	保護者の経済負担軽減を図った点は評価できると考えます。また、医療現場の負荷軽減については、大いに評価できます。
3	国の臨時交付金事業ではありますが、無駄のないように事業を行っていただけたらと思います。
4	子育て世帯については、きめ細やかな事業展開がなされていて、評価できる。
5	負担が多くなっているのが給付などは助かると思います。
6	様々な形態での事業展開がなされており、十分な成果が得られていると思います。
7	子育て世帯の支援について、創意工夫され、評価いたします。
8	放課後児童ホームを午前中から開所した点は仕事を休みたくても休めない家庭にとって、心強く安心出来たと思う。
9	子育て世帯応援特別給付金事業、子育て世帯の食品提供事業等、経済的不安による子どもへの虐待が無いようにサポート出来たと思う。
10	小・中学校学校給食費相当額支援事業（就学援助受給認定者対象）・給食費助成事業・子育て世帯応援特別給付金事業については、減収世帯に対する直接的な経済的支援につながった。

〈課題があると考えられる点〉

No.	ご意見等
1	「事業実施による効果」（内部検証）の記述内容を裏付ける数値または根拠が示されていないため、事業実施効果の検証が困難。
2	コロナ禍はまだまだ続いており「実施期間」後の対応が気になります。 コロナ禍で対面を避けるための緊急避難的な側面もあるが、導入したらこれを効率よく活用することが求められると思う。（全国的な課題かも）
3	GIGA スクール関連でタブレットの導入は評価できるが、コロナ後のコスト（メンテナンス、入替など）、利用機会の充実（インフルエンザでの学級閉鎖や不登校）など継続するための施策に心配な面もある。 今後有効な活用方法を創出しないと投資に見合った効果が得られなくなる恐れがある。
4	子育て支援の他にも、今後子育てをしていく若い世代へのケア（結婚・出産）に対する支援も必要
5	雇用の安定・生活の安全性
6	中学生以下への支援のほか、高校生・大学生への支援もあるとよいかと思います。（在宅支援など）
7	今後も一層の事業対策の策定を願います。
8	子育て世代の転出を抑え、転入を促すためにも子育て世代への具体的な支援を早急に打ち出すことが必要
9	ただでさえ新生児を連れての買い物が大変な上に、コロナ禍で外に出るのも不安な中、オムツ等の嵩張る物の買い物は大変だったと思う。少しでも紙オムツの支給があれば助かる事もあるのでは？（但し、家庭に配達してもらってこそ意味がある）
10	こころのケアハンドブック配布事業は動画配信も良いのではないかと

【市の見解等】

委員のみなさまからのご意見からも、子育て関連事業については、高い評価をいただけて考えています。現状 12 歳未満の方は、ワクチン接種を受けられないことから、より一層の事業の継続性が求められているため、ウィズコロナ・アフターコロナを見極めながら、GIGA スクール構想も活用し、事業を検討していきます。効果検証については、実績数値では効果は計りにくい性質のものと考えていたため、実績値表記は行いませんでしたが、学校等と連携し、教育現場の意見をお伺いする等、創意工夫の余地があるため、次回以降に生かしていきます。

IV 地域が連携し、安心して暮らせるまちをつくる に該当する事業について

〈評価する点〉

No.	ご意見等
1	新型コロナウイルス感染症拡大抑止につながる事業であると思われる。なお、本事業により導入した DX 関連機器やシステム等については、コロナ収束後も継続して利活用のこと。
2	システムの導入については、効率的な運用が出来るという点で評価できる。医療現場・従事者の負担軽減については大いに評価できる。タクシーやコミュニティバスの対策についても利用者の安心感に繋がり評価できる。
3	今後を見据えた庁内の DX 関連機器導入については、高く評価できる。
4	今回のコロナ対策かも知れませんが今後にも活かし続けて対応していける準備が進んでいるのはよかったです。
5	様々な形態での事業展開がなされており、十分な成果が得られていると思います。
6	コロナ禍で、様々な事業をすすめる中で、リモート会議の環境整備は必要であり、準備を進めていることは評価します。
7	DX の事業環境整備は今後もスピード感をもって進めていただきたい。
8	高齢者のインフルザ予防接種無償化事業については、接種を推進することでインフルエンザ蔓延期の発熱者を減らすことで結果的に医療現場の負担軽減につながった

〈課題があると考えられる点〉

No.	ご意見等
1	システムを利活用することで利便性の向上と合わせてコスト削減にも繋がるものと思うが、利活用率の向上と利用範囲拡大の検討などが求められると思う。
2	市民サービスを下支えする事業構築を行い、運用していくことで災害対策にもつながると思う。
3	今回のコロナ対策でありながら今後の発展も見据え続けて進めて行ければよいかと思います。
4	市役所の新庁舎も運用が開始され、市民が訪庁し易い、憩いのある庁舎になっており、これを機にさらなる活気のあるまちづくりに一層の対策の充実を願います。
5	「新しい生活様式」に対応したまちづくり対策を引続き願います。
6	WEB 会議が可能となったのなら、市議会も市民視聴可とした WEB 開催にしてはどうか？ (行政が率先して WEB 会議に踏み込むべきと考える)
7	今後は市役所の窓口での手続き方法をオンライン化することで接触機会が減り、感染予防と市役所の効率化を同時に進めることが出来る

【市の見解等】

委員のみなさまからのご意見からも、事業については、一定評価をいただけたと考えています。

新型コロナウイルス感染症対応事業は市民のみなさまの「命を守る」「暮らしを守る」ことに直結した事業を多く実施いたしました。が、「新しい生活様式」に対応した職員向けの機器整備等につきましても、高い評価をいただいたことから、市民サービスを下支えする職員の業務環境の整備を行うことで、ひいては間接的には市民サービスの向上に繋がるという観点から、今後も DX 化や職員の環境整備につきましても進めていきます。

その他 に該当する事業について

〈評価する点〉

No.	ご意見等
1	感染拡大防止対策としていずれの事業も有意義であると思われる。
2	いずれも医療、福祉、健康、安全に関わる内容で評価できる。
3	コロナの最前線で従事しておられる、市立病院の体制整備に予算をいっぱい使っていただくのは、良いと思います。
4	コロナ禍で、市立病院を持つ市ということで、市民にとっては安心感がさらに強まったと思う。
5	医療従事者の方々、市役所の方々には感謝しかありません。少しでも負担が軽減されることを願っています。
6	各事業とも様々な工夫により、新型コロナ感染拡大防止に対する施策が講じられ、十分な成果が得られていると思います。
7	特に市民のために、市医師会と連携していち早くドライブスルーの PCR 検査を実施されたことは、不安になっていた市民の安心につながったと評価する。
8	ドライブスルーPCR 検査は市民の安心感に繋がった。
9	高齢者用マスク配布は、近場の実店舗でしか買い物が出来ない高齢者には有難かったと思う。
10	大和高田市立病院の医療体制整備およびドライブスルーPCR 検査等導入事業は、医療従事者に対する支援、適切な医療体制の確保につながり、感染拡大防止に役に立った。

〈課題があると考えられる点〉

No.	ご意見等
1	身体障がい者および高齢者へのマスク配布については有意義なことと考えるが、同様に生活困窮者にも希望者には配布すべきではないのか？
2	今は改善されているかもしれませんが、春に発熱し診てもらうために病院に電話した時に診てもらえる病院がわかるまでに 1 時間程かかったのでコロナ以外の病気の対応などを分かりやすくなると良いと思いました。
3	今後も新型コロナ終息まで、大変な労力と対策が必要となりますが、市民のみなさまの為、ご尽力願います。
4	感染症医療従事者や感染症従事者への手当は当然の事、今後も継続して支給していただきたい。
5	水道料金の基本料金（4 か月）の支援については、全ての世帯ではなく一定の基準を設けて免除を行い、捻出できた財源で医療体制の構築に向けても良かった。

【市の見解等】

委員のみなさまのご意見から、ドライブスルーPCR 検査等導入や、医療従事者への支援等、特に医療関係への事業につきましても、市立病院を持つ市として、今回のような有事の際にも、市民のみなさまへ迅速に医療の提供をすることが可能であり、今後もさらなる安心にも繋がるということからも、高い評価をいただけたと考えています。また、これらの事業についても、継続性が求められていることから、今後の状況に対応した事業を検討していきます。

その他（自由記述）

No.	ご意見等
1	今回のコロナ禍を教訓にして、将来の非常事態に備えた強固で機動性のある市独自の危機管理体制および医療体制を今後再構築しておく必要がある。
2	今回のような有事に対する交付金は、年度内での完全執行に固執するのではなく、状況応じ年度を越えた長期にわたって適宜執行できるようにすべき。
3	「事業実施による効果」は記述内容を裏付ける数値や根拠を示すべき。
4	コロナ禍の収束が見えない状況であり施設や設備、配布物等よりも本当に困っている人への支援に使って欲しいと願います。
5	今回の書面開催は、昨今の新型コロナの感染状況から仕方ないことと思いますが、資料と案件概要説明を読んで意見を出してくださいということについては、ある程度事務局から説明を受けるとかしないと、要点や趣旨が分からないところがあるので、意見を出すというのは正直なところ非常に難しいと思います。他の委員さんの考えも聞いてみたいところです。 対面開催ができないならば、せめてリモート開催とか別の方法ですべきではないかと思います。
6	今後も新型コロナ終息まで、大変な労力と対策が必要となりますが、安全に安心して暮らしができる日が早く戻ることを願いながら、職員皆様のご苦勞に感謝いたします。
7	ワクチン接種券配布について、64 歳以下の発送案内から到着まで2週間もかかった。期待して待っておられた方が殆どの中、2週間もかかり、その間の進捗の状況説明もないままでは不信感と不安感が募っていたと思う。 タイムリーな情報発信が出来る SNS LINE 等）を利用しながら、市民がすぐにでも知りたい事の発信が出来ていない。（参考例：天理市の並河市長は毎日状況を SNS で発信しておられ市民状況がよく伝わっていると思う）
8	情報発信について、状況の変化の激しいコロナ禍において全体像が見えず不安になる事が多い他の市町村で SNS を積極的に利用し呼びかけや情報開示を行っている首長もおられる事から、分かりやすく安心できる人間味ある発信を期待する。
9	大和高田市内業者に対して、新型コロナウイルスの影響がまだ残っている中小・零細業者に対して、時限的で良いが、現在ある大和高田市特別融資とは別枠での借入の制度設定をお願いしたい。
10	広域、複数の不動産事業者との話の中で、新たな居住地（転居を伴う）を検討する際、近隣市町村（香芝市、橿原市、葛城市）と比べて、理由としてははっきりとしたものはないが、漠然としたイメージから大和高田市はファーストチョイスになりにくいとの印象を持たれているため、教育面の強化や先進的事例等を参考にして、イメージ戦略の試行も有効ではないか。

【(総括) 市の見解等】

委員のみなさまのご意見から、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業につきましては、一定以上の評価をいただけたと考えています。しかし、長引くコロナ禍で必要とされることも逐次変化していくなかで、市民のみなさまや事業対象者等から、無作為にご意見をお伺いし、何が必要とされているのか、何が必要となっていくのかを現場の声も反映しながら事業検討を行い、市民のみなさまの「命を守る」「暮らしを守る」ことから、ウィズコロナ、アフターコロナにも柔軟に対応できる基盤を整え、大和高田市まちづくりの指針及び第2期大和高田市まち・ひと・しごと総合戦略に基づき、人口減少及び少子高齢化及び地方創生に今後も取り組んでいきます。